

幼児教育の基本的事項(幼稚園教育を中核として)

参考

幼児同士による集団の形成

- 幼児同士による身体感覚を伴う豊かで多彩な遊びの経験
- 幼児同士の関係づくり、年齢別学級編制、異年齢交流への配慮
- 1日4時間の教育時間を標準とした生活リズムに配慮した時間設定 等

教育的意図を持った計画的な環境の設定

- 人的環境の構成
(保育者との信頼関係、学級づくり、地域の人々との交流 等)
- 物的環境の設定
(絵本などの準備、教材づくり、遊具・用具の整備・点検)
- 空間的環境の整備
(保育室・遊戯室・園庭の整備、自然環境の確保 等)

専門性を有する 保育者の指導・援助

- 幼児の主体的な遊びを促す指導
(幼児理解、個に応じた指導・援助)
- 指導計画の作成
(年・月・週・日単位)
- 指導要録の作成
(幼児の発達の記録・評価)
- よりよい保育のための計画・反省・評価
(全教職員による協力・協議)
- 資質向上のための研修
(園内外、研究会、公開保育)

「生きる力」の基盤の育成

- ① 基本的な生活習慣・態度の育成
- ② 自立と協同の態度、道徳性の芽生え
- ③ 身近な事象への興味・関心、豊かな心情や思考力の芽生え
- ④ 言葉(話す、聞く、態度、言語感覚)への興味・関心の育成
- ⑤ 多様な体験による豊かな感性、創造性の育成